

事業概況

情報機器事業



オプト事業



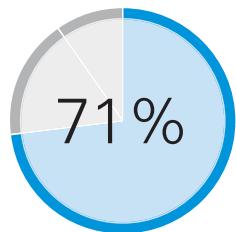
ヘルスケア事業



主要製品

- 複合機 (MFP)
- レーザープリンター
- デジタル印刷システム
- デジタル色校正システム

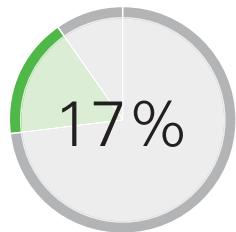
売上高構成比



主要製品

- 液晶偏光板用TACフィルム
- 光ディスク用ピックアップレンズ
- HDD用ガラス基板
- マイクロカメラモジュール

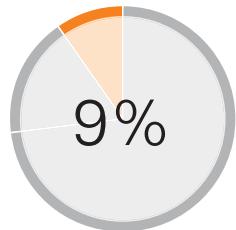
売上高構成比

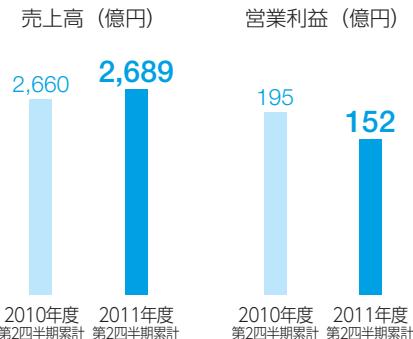


主要製品

- デジタルX線画像診断システム
- デジタルマンモグラフィー
- 医療用画像診断ワークステーション
- 医療用画像ファイリングシステム

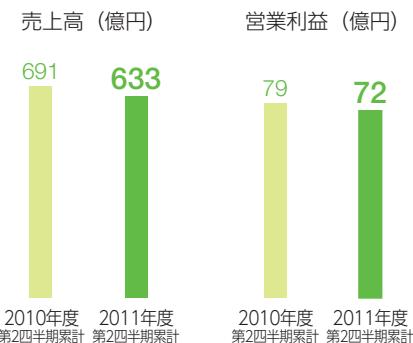
売上高構成比





オフィス分野: 複合機(MFP)は、採算性の高い「bizhub(ビズハブ)」シリーズのカラー機がすべての地域で販売好調となり、全体でも販売台数は前年同期を上回りました。

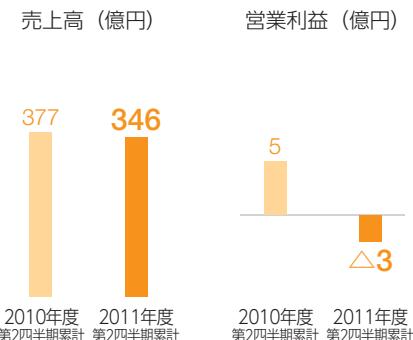
プロダクションプリント分野: 新シリーズ「bizhub PRESS(ビズハブ プレス)」のカラー機が牽引し、主力市場である欧米に加え、新興国でも販売台数は前年同期を大きく上回りました。



ディスプレイ材料分野: 競争力の高い、視野角拡大用VA-TACフィルムを中心に、販売数量は前年同期を上回りました。

メモリー分野: 光ディスク用ピックアップレンズの販売数量は、ブルーレイディスク用、DVD用とも前年同期を下回りましたが、HDD用ガラス基板は後半より受注が回復し、前年並みの販売数量となりました。

画像入出力コンポーネント分野: カメラ付き携帯電話向けは前年同期を下回りましたが、デジタルカメラ向けレンズユニットは、前年同期を上回る好調な販売となりました。



医療用デジタル入力機器は、カセット型DR「AeroDR(エアロディーアール)」及び卓上型CR「REGIUS Σ(レジウスシグマ)」の新製品投入による効果で、販売台数は前年同期を上回りました。一方、先進国でフィルムレス化が進行する中で、中国などの新興国への拡販を進めた結果、フィルム製品の販売数は伸び悩みました。

※ 2010年度は旧グラフィック事業の数値を除く。

※ 第2四半期累計期間: 4月～9月